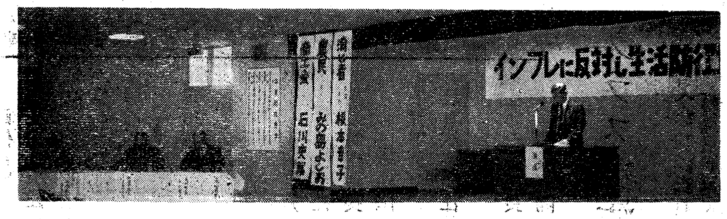
とかち新聞
主筆　松山明
（発行所）北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
毎旬5の日発行　1カ月200円　1カ年前納　2,000円

政党の機能が大切

インフレ反対　本別地域集会

「インフレに反対し生活防衛本別地域集会」という長い名前の池北線ではじめての集会が、六日午後一時すぎから体育館中ホールに町民約二百五十名をあつめてひらかれました。

この集会は砂原地区労事務局次長の司会ですすめられ、菊地地区労議長から『インフレに反対しようと各団体に呼びかけ町の協賛を得た』と経過報告があつて高橋広実行委員長から『世界の人口増により石油危機のあとは食糧危機がくる、政府の姿勢と政策をかえさせなければならない』とのあいさつがあり、来賓として渡辺助役と長谷川議長から激励のあいさつにつづいて、農民の立場から蓑島芳雄氏は『東京へいつたら牛乳が五十円だつたが、我々生産者には十四円弱しか入らない、流通機構を改善すべきで牛乳の消費八百万トンにたいし国内では四百五十万トンしか生産されていないのに、十勝の酪農家五千七百戸が五千戸にへつた』商工業者の立場から石川史郎氏は『一人あたりの平均年収は六十万円で、二十日に〆切り三十日に支払い決済をしなければ品物が入らない反社会的行為は本別の商店にはない』消費者の立場から根本幸子さんは『プロパンガスの価格に疑問がある、帯広で業者や支庁の話しでは五十年三月からメーター制になり八百円も多く払わされるというか、私らの知らないところにカラクリがある』とそれぞれ実情報告をしました。


インフレに反対し生活防衛

ついでこの集会の講師として北海道地方自治研究所の山内敏雄事務局長が登壇して『物価の前に立ちはだかつているのは法律や規則や制度で、消費者は泣き寝入りせずハッキリ組織化して政治や行政を変えていかねばならない、物価はある日突然あがつてくるのでなくオイルショックは直接のバネにはなつたが問題はもつと深いところにある』として、戦後の占領政策から池田内閣の所得倍増政策、佐藤内閣の新経済社会計画、田中首相の日本列島改造論に至るまでをひとわたり分析してから『日本の商品が安くてよいのは労働賃金が安くコストが安いからで

一時間あたりの賃金

アメリカ	一、二一三円
西ドイツ	五八七円
イギリス	四五四円
フランス	三六四円
イタリア	三四六円
日本	三三五円

一週間の労働時間

アメリカ	三八、二時間
日本	四六、八時間

売上げにたいする人件費

アメリカ	四五、三％
西ドイツ	二二、二％
日本	一三、〇％

となつており、大企業にたいする土地、水、電力、交通体系などの基盤整備に日本では国から三五〜四〇％に達しているが、日本ほど資本が狂暴にふるまう国はない、それに抑止力をもつのが政治であり、政治を動かすのは政党だが、政党がその機能を果しているかどうか、先日も帯広でアンケートをとつたらどの政党も支持せずが四〇％もあつたわが国では政治的といえば肯定的でなく否定的にとられる、住民運動で抵抗しても根本さんのいわれるように、そこに法律や条例があるのでこれはどうしても政党へもつていかなければならない、町には各政党の支部があるからそこへ問題をもちこむべきで、みなさんも支持する政党に入るべきである、政党が機能しなければ民主主義が弱まりファツシズムがおこる』との講演があり、このあと質疑討論があつて高橋実行委員長によるガンバローで午後四時近くに閉会しました。

国のうちそと

おとなりの国

★大都市の中心街の一等地となれば、そこにあるのはデパートに銀行に大企業のビルとなるところ、これがなんと勤労者のための国営アパートになつているのがおとなりの朝鮮民主主義人民共和国であること。

★その国がことしの三月一日から生活用品価格の三〇％引下げを実施したのにつづいて四月一日から勤労者と農民の税金を廃止。

★これは場あたり的に突如として実施されたのではなく、十三年前から計画的に序々に減税してきて、ついに世界で初の無税国に。

★この国には日本のように富の大半を所有する大企業や大商社は存在せず、国営企業と国有財産によつて国家が経費を負担できるために、早くから医療費や教育費はすべて無料で、生徒や学生に衣服から靴まで支給しており、家賃は収入の一％程度、米は一キロ八十円程度ですが国が農家からその数十倍で買い取つて差額を負担していること。

★チヤンコロとか半島人とかいわれて日本軍国主義の犠牲となつた中国や北朝鮮は、いまや勤労者や農民が政治の実権を握つているからで、そこにインフレなどはあり得ないこと。

★世界第三位の経済大国といわれても、それはひと握りの大企業、大商社の金もうけぶりを集計したもので、労働者や農民は北朝鮮のずうつと下位にある現状だからこそ牛乳の出荷ストともなり春斗のゼネストともならざるを得ないこと。

大規模林道に反対

足寄町議会　一般質問から

定例才一回の足寄町議会での一般質問の主な論議はつぎのとおり。

横田議員　大誉地の石山については一歩もすすんでいない、熱意がないのか

小林町長　石山開発について比重の点で舗装に使えず国安氏も苦労されたがこんどは間違いなく再開する料金も支払われた

矢野議員　高校の家政科は勉強のできないもののタマリのようにみられているので、全員普通科へ入学するようにしてはどうか

小林町長　普通科にするのは困難である

矢野議員　委員の任命について税金を納めていないものを報酬審議会の委員に任命している、こんどどうするか

小林町長　滞納者とは思わなかつたが、考えたい

湯浅議員　駅前広場の造成は最終的に妥結したか、住宅の移転、無料休憩所、駅舎の改築はどうか

小林町長　莫大な財源を要するので年次計画でなければ困難で、これから国鉄との協議となる、無料休憩所は商工会でも計画しており、駅舎の改造、新築は具体的にはないが合せて努力する

湯浅議員　駅官舎の移転は五十年になるのか

小林町長　駅前の整備は諒承され駅裏との土地の評価をすすめている

湯浅議員　字名の改正はどうすすめるか

富田助役　大事業なので四十八年度に先進地を視察し四十九年から四カ年計画で全町的に字名を変更する二千万円かかるが本年度は八十七万円を予算化した

湯浅議員　町立病院は池北線の基幹病院といわれたが、南病棟や隔離病室などはどうするのか

小林町長　隔離病室は老朽化しており、広域組合立にすべきであるとして保健所を中心にして協議をすすめており、消防庁舎や住宅は移築計画で用地を拡充する、南病棟の三十床は結核病棟で起債の措置がないので一般病棟への転用をはかり改築したい、病床の規制があり知事の諮問が必要で困難だが努力する

湯浅議員　三町の消防事務組合は非常勤の消防長では一刻を争うのにどのようにすすめるのか

小林町長　消防長は非常勤で充分でないが、段階的に是正していきたい

吉田議員　喜登牛小学校は全校三十五名で校舎は老朽化して充分な教育ができないような実態にある、統合についてどうか

岡教育長　煮つめの段階で、毎年度関係者と話し合い五十年度に可能性を見出したい、拓鉄バスが廃止されるので早期に促進したい

神本議員　大規模林業圏にいささか疑義をもつ、道三期計画にとりあげられたが、国土の有効利用、林産資源の増強というが舗装の二車線、駐車場、スキー場などで林道は三割でなにを目的とするか、相当量の木を伐り表と中味が違う、林業労働者をへらし木工場もへり町村が発展する可能性があるか

小林町長　町の発展は交通網の整備が大切で企業誘致と地域の発展のため二車線は必要で、西ヨーロッパを視察したが海抜三千米、四千米でも舗装しており、むしろ能率をあげ調和させるべきで慎重に対処したい

神本議員　基本的に反対する、若干道路は整備されるが工場や労働者の減が見込まれる、白老や釧路へ原木が走つてしまう、足寄が衰微する

小林町長　基本的に賛成反対があり注文をつけて修正している、二本とも足寄に関係をもち地域住民に寄与し地元の発展につながる

神本議員　林業振興決議と相反する、道路をあつめてなにをやるのか

小林町長　決議と関係はなく相反しない

陸別に三施設

定例才一回の陸別町議会ではつぎのように条例を改廃、制定した主な施設はつぎのとおり。

◎国民健康保険診療所

新築にさいし有利な診療所にし、定員は医師一、看護婦五、医療技術員三事務職員五、労務職員四の計十八名。

◎スポーツセンター

旧陸小体育館を活用して教委が管理。使用料は午前八百円、午後一千五百円、夜間二千円。ほかに音響装置は五百円。

◎青少年会館

高校の建物を活用して、才一研修室、才二研修室遊戯室、相談室を設置。

●お知らせ●

各地域、職域での行事、会合などご一報下さい。取材に参上いたします。

とかち新聞社

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
㊅久保呉服店
足寄町　T 二一四八

従業員募集
このたび北見市農協会館に総合結婚式場および地下食堂を開設、二十日オープンのため従業員を募集します
特に足寄、本別、陸別の方を歓迎
寮完備、給与など優遇、委細面談
株式会社メーゾン観光　照勝会館
代表取締役　小竹勝男
北見市四　通り四丁目　T ⑤七三五一

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄駅通り　T 二五一二

新畳　表替　中古畳　フスマ張替
二段ベッド
敷物一式
マットトレス
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T二四二八

庭石は道東随一の当会社へご用命下さい
造園　土木　造林　造材　請負
有限会社　大浦建設
大浦晃
足寄町芽登　T11

一五〇キロ高速ホイルバランサー
レッカー車
RM　アクリル　調色機
新鋭機導入！
札幌陸運局認証　整備　板金　塗装
ムトウ自動車工業
ボンコツ車買い入れます　足寄町　T 二五七八

不動産についての御相談は
調査　売買　あつせん　管理　分譲
代行　登記　損害保険　代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　T二三四五

お墓を新造、改造する方など
お気軽にご相談下さい（無料）
ただし毎日18時から20時まで（日曜は随時）
吉相墓研究会
主幹　高本修司
足寄町中央五区　高本とうふ店　T 二五〇五

家具　建材　アルミサッシ
既製家具から注文建具
住宅産業に奉仕する！
有限会社　桜井家具建具店
足寄町北五区　T 二三六二　工場西五区